

【生薬名】 乾姜 *Zingiberis Siccatum Rhizoma* ㊦

【起源植物】 ショウガ *Zingiber officinale*



【科名】 ショウガ科 Zingiberaceae

【別名】 クレノハジカミ、ツチハジカミ

【薬用部分】 根茎を湯通した後、コルク皮を去り煮沸して乾燥したもの

【主成分】 辛味成分ジンゲロール、ショーガオール、ジンゲロンなど

【薬性】 気味は大辛大熱、帰経は心肺脾胃腎に属す

【効能】 ●温中・回陽・温肺化痰

●血液循環を促進するので、服用すると胃腸に温暖感が生じる、これを温中散寒という

●脾胃虚寒に使用する。悪心・嘔吐・吃逆・多唾・腹痛・下痢などに人参などを配して用いる、人参湯など

●咳嗽・多痰・呼吸早い・息短いなどの寒飲の症状には細辛や五味子などを配して用いる、小青龍湯

●虚寒による不正性器出血・吐血・血便などに用い温経止血する

●ショック・虚脱(亡陽)に用い回陽救逆する

【出典】 ●乾姜 味辛、表風寒を解し、炮は苦、冷を逐い、虚熱尤も堪ゆ。(薬性歌)

●主治結滞水毒也。旁治嘔吐。咳。下痢。厥冷。煩躁。腹痛。胸痛。腰痛。(薬徴)

●治胸滿欬逆上氣。温中止血出汗。逐風濕痺。腸澼下利。生者尤良。久服去臭氣。通神明。(神農本草經中品)

【備考】 ●生姜は外感病に、乾姜は裏寒の病に対して用いる

●生姜には生のショウガを当てるべきで、ショウガを干しただけの生姜㊦(乾生姜)は傷寒金匱の乾姜ととらえる

【処方例】 ●甘草乾姜湯、四逆湯、茯苓四逆湯、人参湯